

2020年度茨城大学模擬授業一覧

部局名：農学部

No.	分類	授業科目名	学部・学科等	授業概要	担当教員	主な対象学年	備考
					氏名 (キーワード)		
1		食品の科学		私たちの生命維持に欠かせない「食」について、食資源としての農畜産物の利用、加工・保蔵・流通・衛生など食の安全性、食品成分の機能など、様々なキーワードに焦点をあて、わかりやすく解説します。	上妻由章 (食品機能・酵素) 白岩雅和 (食品のもつ3つの機能と健康) 鈴木穂高 (食中毒菌・魚貝毒) 長南 茂 (微生物・酵素) 豊田淳 (食・脳の健康) 中村彰宏 (食品の物性・加工) 宮口右二 (畜産物・未利用資源) 鎗田 孝 (食の安全・食品の化学分析)		希望する教員を3名以上ご指名ください。本学で調整します。50分授業など、授業時間はご希望に沿います。
2		バイオサイエンス入門	農学部 食生命科学科	人間の生存は様々な生物の生命活動によって支えられています。この授業では、動物・植物・微生物による生命現象の科学やそれを応用した技術について、授業担当者の専門に関連した内容を分かりやすく紹介します。	朝山宗彦 (微生物探索、遺伝子、有用物質生産) 安西弘行 (植物バイオテクノロジー、遺伝子改変(GM)作物) 上塚浩司 (動物の健康、生物多様性) 大久保武 (ホルモン、生殖の科学) 小川恭喜 (免疫入門、病気) 金澤卓弥 (乳腺の科学、哺乳類の子育てを支える器官) 小島俊雄 (生命の化学、大学で学ぶ生化学) 鈴木義人 (植物ホルモン、生物間の化学的相互作用) 須藤まどか (動物の栄養、代謝) 戸嶋浩明 (生物毒の利用、化学合成と薬) 中平洋一 (植物バイオ、遺伝子組換え、ゲノム編集) 成澤才彦 (微生物、農業を救う菌) 西澤智康 (土壌圏のバイオサイエンス) 西原宏史 (微生物と水素) 長谷川守文 (植物の自己防御物質の化学) 安江健 (動物の行動とその利用)	全学年	希望する教員を3名以上ご指名ください。本学で調整します。50分授業など、授業時間はご希望に沿います。
3		作物生産の科学	農学部 地域総合農学科	作物生産は、人が植物の力を借りて太陽エネルギーを食糧として収穫する営みです。農業科学では、高品質で安全な作物を持続的に生産し利用するために、植物やその栽培環境について研究することで様々な技術が開発されています。これらの素晴らしい技術の一端を最新のトピックスを交えて平易な言葉で紹介します。	浅木直美 (身近な有機質肥料と作物の栽培) 安達俊輔 (光合成と食糧生産) 井上栄一 (果物の科学、花と作物のふしぎな関係) 菊田真吾 (農薬の今昔と未来) 北嶋康樹 (食料生産と昆虫) 久保山勉 (植物の遺伝資源と育種) 佐藤達雄 (新しい栽培技術) 田附明夫 (野菜のストレス生理) 七夕小百合 (作物生産を支える土と肥料) 中島雅己 (農業と植物の病気) 古谷綾子 (植物の病気とバイオテクノロジー) 望月佑哉 (野菜の収量とおいしさ)		希望する教員を3名以上ご指名ください。本学で調整します。50分授業など、授業時間はご希望に沿います。
4		地域との共生を考える		生命を育む基盤である農村地域や農地、水、地域環境の保全と再生、防災・減災や、さらには地域の問題の解決について、その理論と実践の一端を、各教員がそれぞれの専門の見地から平易な言葉で紹介いたします。	池田真也 (インドネシアの農業発展と巧みな契約) 伊丹一浩 (フランス・アルプスの農業と地域の歴史) 内田 晋 (農業とエネルギー) 岡山 毅 (スマート農業) 黒田久雄 (農業と湖沼水質) 小松崎将一 (フィールドで学ぶ有機農業) 高瀬唯 (地域の様々な環境と共生する風景づくり) 西脇淳子 (土壌と環境保全) 前田滋哉 (農業水路における水の流れと環境) 牧山正男 (水田農業と環境との関わり)		希望する教員を3名以上ご指名ください。本学で調整します。50分授業など、授業時間はご希望に沿います。